

令和3年度 第2回しずおか食の安全推進のための意見交換会 議事録

開催日時：令和4年1月28日（金）14:00～15:10

開催場所：県庁別館7階第二会議室A

出席者：別紙参照

概要

1 開会

2 しずおか食の安全推進幹事会 幹事長（健康福祉部生活衛生局長） 挨拶

3 議題

(1) 現「しずおか食の安全推進のためのアクションプラン」の進捗状況

(2) 新「しずおか食の安全推進のためのアクションプラン」の策定

発言者	発言要旨（意見及び回答）
事務局 関係課	現「しずおか食の安全推進のためのアクションプラン」の進捗状況 新「しずおか食の安全推進のためのアクションプラン」の策定 について説明 第1回しずおか食の安全推進のための意見交換会における意見・質問事項に対して回答
静岡県立大学 食品栄養科学 部 教授	安全・安心情報のデジタル化について、ホームページへのアクセス数を管理指標としているが、食品の安全に関する情報源としては、最新の情報を迅速に更新しているような、国が運営する厚生労働省、食品安全委員会、国立医薬品研究所、国立健康栄養研究所などのホームページとのすみ分けが大変だと思っている。私も論文を作成するために、国が運営するホームページにアクセスしている。そういった意味では、管理指標の目標値とし設定している7,000件以上は大変かなと感じる。県内に特化した情報を公表する事は、非常に意味があると思うので、県内の食の安全・安心情報を載せるような形が良いと思う。
事務局	現在、食品安全委員会が作成するホームページのアクセス数は、年間約3,500件で、目標値として倍増を設定している。このホームページは、今後、食の安全情報だけでなく、食育や学校給食の関係など、食の安全・安心について、関係課が作成している様々なデジタル情報を、集約することを検討している。県民の皆様に広く啓発できるようなものにしていきたい。
衛生課長	ホームページの名称についても、工夫したいと考えている。

静岡県消費者 団体連盟 会長	健康食品の通信販売が増えている。さらに、ここ2～3年の間に、今まで健康食品であった商品が、機能性表示食品となってきている。そのような商品は、宣伝が上手で、お医者さんがいらぬような感じを受けるくらい、効果があるというような認識を受ける。不当表示には該当しないものの、消費者を惑わすような宣伝が多くなっているように感じる。また、摂取に対する注意事項など大事な情報は、非常に文字が小さく、肉眼で読むことができないような表示もある。消費者にとって大事な情報は、大きくはっきり書いてほしいと思う。
新産業集積課 参事兼課長代理	新産業集積課は機能性表示食品に対する規制ではなく、機能性表示食品を製造する事業者を応援している。「資料6」記載のとおり、サイエンス・アドバイザーが事業者の支援を行い、事業者が消費者庁に届出を行うためのガイドラインを遵守できるように、指導を行っている。現実、ガイドラインを遵守できていない食品もあるということで、もう少し工夫していきたいと思っている。
衛生課長	引き続き、関係課も含めて連絡調整をしながら、適正な表示を推進していきたい。
静岡県経済農業 協同組合連合会 みかん園芸部長	新アクションプランで追加されている「しずおか食セレクション」の「頂(いただき)マーク」ですが、マーケティング課と私どもで連携して実施している商品について、本日の静岡新聞に掲載されたので、報告する。
衛生課長	タウンミーティングをすると、「地産地消を進めて欲しい」という意見が多いので、食の安全推進委員会としても「しずおか食セレクション」を進めていきたい。
静岡県立大学 食品栄養科学部 教授	消費者の食に対する信頼確保のための取組で、「食の安全に関する学習機会の提供」として実施している食品安全出前講座は、平日にやっているのか。
事務局	平日に行っている。
静岡県立大学 食品栄養科学部 教授	土曜日又は日曜日であれば、学生は出前講座に協力できていると思っている。学生は、コロナウイルスにより、全く大学活動ができていないので、学習機会を望んでいると思う。学生にも、食品の安全性に対する知識を習得できるというメリットもある。是非、学生を対象に出前講座をお願いできればと思う。
衛生課長	わかりました。十年位前に、学生に対するタウンミーティングを休日に実施しており、評判も悪くなかったと思う。検討させていただきたい。
静岡県消費者 団体連盟 会長	出前講座の話で、静岡県消費者団体連盟では、県民生活課の委託で地域消費者生活講座という出前講座をやっている。食、環境、SDGs など色々なジャンルについて、幼児から高齢者まで様々な方を対象としている。消費者サイドで差し支えないのであれば、私どもの方でも出前講座は可能であると思う。 SDGs は静岡県でもモデル県として取組んでいるが、出前講座で色々なジャンルを SDGs や私たちの生活と絡めて説明すると、非常に関心が高い印象である。食品に関する事も含め、私達の身近な生活の中で、できる事を伝え、一緒に考えるという形で行っている。参考になればと思う。
衛生課長	ノウハウをまた是非教えていただきたいと思う。

静岡県生活協同組合連合会 常務理事	<p>新たな施策として、安全・安心情報のデジタル化の項目を増やしたことは、本当に必要な事で、とても時代に合っていると思う。若者は今、SNS から情報を取り入れる事も多い。また、食の安全や安心に関する情報発信に動画を活用することは素晴らしいと思う。</p> <p>コロナウイルスの感染が広がっている中で、出前講座やタウンミーティングなどの講座に参加したくても、参加できない人も多いと思う。今後、オンラインで実施することについて検討されているか伺いたい。</p>
衛生課長	<p>今年度のタウンミーティングは、参加人数の半減、時間の短縮、健康チェックや、消毒など十分な対策を取りながら実施した。今後も、十分な対策をした上で実施をしていくとともに、ハイブリット型についても検討していきたい。</p>
静岡県消費者 団体連盟 会長	<p>アクションプランの最後に用語の説明を付けていただきましてありがとうございました。大変参考になる。</p>
衛生課長	<p>ありがとうございます。</p>
静岡県立大学 食品栄養科学 部 教授	<p>教育の面で、例えば交通安全では、そのスローガンや絵画を小学生や中学生から募集して、集まった作品を審査し表彰するような事をしている。食の安全に対しても同じような事はできないか。児童や学生は食について考えたり、勉強したり、興味を持つための良い機会となり、食の安全に対する教育は広まっていくと考える。</p>
衛生課長	<p>新アクションプラン計画期間である4年間の間に実施できるよう、関係課と調整し、検討していきたい。</p>
衛生課長	<p>色々な意見をいただき、ありがとうございました。いただいた意見を参考に、最終案を作成していく。</p>

(3) しずおか食の安全推進幹事会の関連事業 (資料提供)

4 その他 事務局から今後のスケジュールについて説明

5 閉会

第2回 しずおか食の安全推進のための意見交換会 出席者

(1) 学識経験者、消費者団体、業界団体

氏名	所属・役職
増田 修一	静岡県立大学 食品栄養科学部 教授
小林 昭子	静岡県消費者団体連盟 会長
望月 美可	静岡県生活協同組合連合会 常務理事
山下 昌徳	静岡県経済農業協同組合連合会 みかん園芸部 部長
高瀬 進	静岡県漁業協同組合連合会 指導部長
遠藤 壽	(一社)静岡県食品衛生協会 専務理事

(2) しずおか食の安全推進幹事会 関係課

氏名	職名
田中 喜久夫	しずおか食の安全推進幹事長 (健康福祉部生活衛生局長)
山島 茂樹	くらし・環境部県民生活課 事業者指導班長
堀川 俊	健康福祉部薬事課 課長
山崎 浩希	経済産業部新産業集積課 参事兼課長代理
芦澤 裕之	経済産業部マーケティング課 課長代理
石川 盛一郎	経済産業部農業戦略課 課長
仲田 亘	経済産業部地域農業課 課長代理
小林 栄人	経済産業部お茶振興課 課長
萩原 快次	経済産業部水産振興課 課長
櫻井 澄人	教育委員会健康体育課 課長代理
漆畑 健	しずおか食の安全推進委員会事務局 (健康福祉部衛生課長)